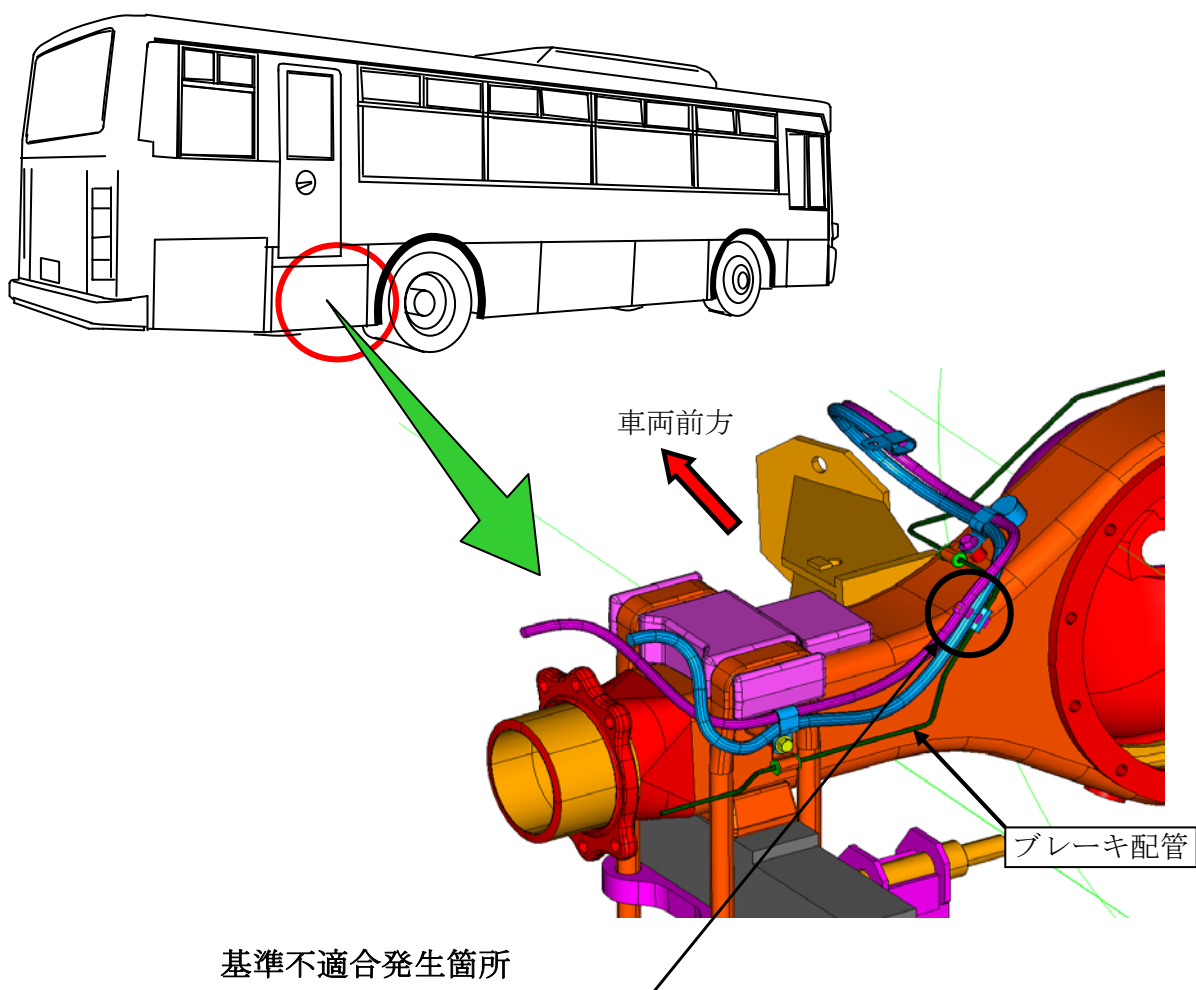


改善箇所説明図



路線バスの後輪ブレーキ配管の固定方法が不適切なため、走行時の振動により、配管が摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該部位の配管固定方法を変更するとともに、ブレーキ配管を対策品に交換する。

注： 内は交換部品を示す。

識別：配管左側に白色ペイントを塗布する。